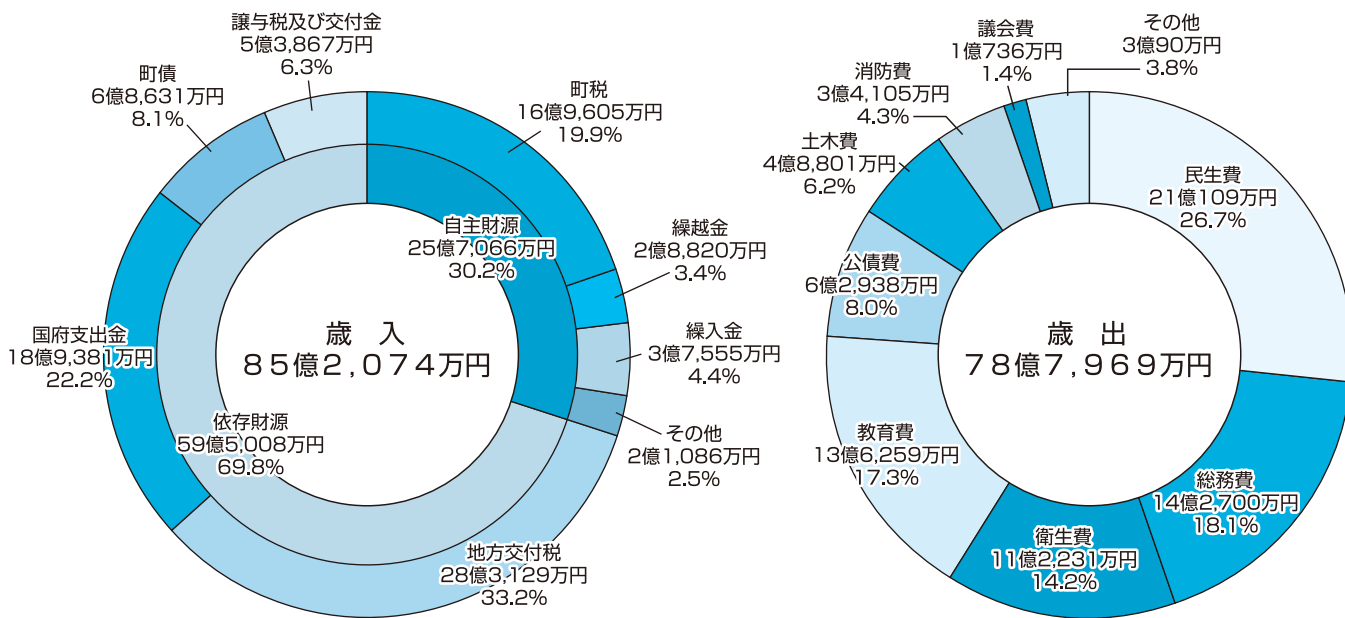


決算状況 139億3,801万円

(一般会計・特別会計歳出総決算額)

74万円、歳出総額が78億7,969万円であり、翌年度に繰越す事業の財源2億3,595万円入総額は、町税や国庫支出金の減などにより、前年度より6億6,830万円の減となりました。8,325万円の減となりました。また、国庫支出金が13億9,772万円の減、地方交付税が合は、前年度より3.9%増の30.2%となり、地方交付税などの依存財源の割合は、69.8%より自主財源の割合は増加したものの、依然として厳しい財政状況が続いています。

10億2,116万円の減となりました。新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業が2億9,給付金給付事業分の19億3,622万円が減となったことが大きく影響して減少となりました。



令和3年度に実施した主な事業

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	3億345万円
新型コロナウイルスの感染予防・重症化の防止を図るため、ワクチン接種を実施しました。	
小中一貫校施設整備事業	1億5,411万円
東地区小中一貫校設置に向けた改修工事を行いました。	
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	1億5,260万円
子育て世帯の支援を行うため、臨時特別給付金を給付しました。	
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	1億3,301万円
令和3年度住民税均等割非課税世帯等に対し、臨時特別給付金を給付しました。	
公園施設災害復旧事業	1億1,995万円
令和2年7月豪雨により被災した、光風台6丁目緑地の本復旧工事に着手しました。	

シートス改修事業	7,062万円
シートスの屋上防水およびプール設備の改修工事を行いました。	
小学校施設整備事業	6,270万円
東ときわ台小学校2号館および給食調理室の屋上防水工事を行いました。	
図書館空調更新事業	5,477万円
図書館空調設備の更新工事を行いました。	
行政系パソコン更新事業	3,084万円
老朽化した行政事務用パソコンをオンライン会議等に対応したパソコンに更新しました。	
緑地擁壁改修事業	2,976万円
ときわ台7号緑地について、経年劣化している擁壁の改修工事を行いました。	

問=行財政課 ☎739-3414

令和3年度

一般会計の決算状況は、歳入総額が85億2,000円を除くと、4億510万円の黒字となりました。歳主たる財源である町税は16億9,605万円となり、2億8,858万円の増となりました。自主財源の割と財源の3分の2以上を占め、国庫支出金の減により一方、歳出は78億7,969万円で、前年度より585万円の増となりましたが、前年度の特別定額

基金現在高(まちの預金)

財政調整基金	13億2,472万円
公共施設整備基金	1億7,737万円
町債管理基金	7,627万円
文化振興基金	552万円
退職金等引当基金	3億8,410万円
ふるさとづくり基金	9,829万円
物品調達基金	300万円
介護保険介護給付費準備基金	7億3,999万円
旧吉川財産区基金	7,552万円
下水道建設基金	9,497万円
下水道債管理基金	1,898万円
国民健康保険事業財政調整基金	2,000万円
森林環境譲与税基金	662万円
合計	30億2,535万円
前年比	△1億3,390万円

※基金現在高は令和4年3月末の額です。

町債現在高(まちの借金)

一般会計	57億7,690万円
下水道事業	13億920万円
生活排水処理事業	3,587万円
合計	71億2,197万円
前年度比	△2,910万円

会計別決算状況

会計別	歳入額	歳出額	差引額
一般会計	85億2,074万円	78億7,969万円	6億4,105万円
国民健康保険事業勘定	28億2,408万円	27億5,502万円	6,906万円
国民健康保険特別会計 診療所施設勘定	1億319万円	9,549万円	770万円
後期高齢者医療特別会計	5億9,904万円	5億7,877万円	2,027万円
介護保険特別会計事業勘定	23億6,929万円	22億1,887万円	1億5,042万円
下水道事業特別会計	4億4,671万円	4億1,017万円	3,654万円
合計	148億6,305万円	139億3,801万円	9億2,504万円
前年度比	△5億6,521万円	△9億4,305万円	+3億7,785万円

財政健全化判断比率

○財政健全化判断比率とは

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、財政健全化指標などを公表することが義務付けられています。指標が基準を超えた場合には、早期健全化計画あるいは財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組みなければなりません。豊能町の令和3年度決算に基づく各指標は、以下のとおりで、いずれの指標も基準以下となっています。

○健全化判断比率

財政の早期健全化や再生の必要性を判断する4つの財政指標です。(単位:%)

指標	豊能町の数値	国の基準
実質赤字比率 一般会計が、黒字か赤字かを判断する指標	—	14.98
連結実質赤字比率 特別会計・公営企業会計を含めて黒字か赤字かを判断する指標	—	19.98
実質公債費比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実際に負担した公債費の割合を示す指標	5.6	25.0
将来負担比率 公営企業や一部事務組合などを含めて、町が実質的に負担しなければならない負債を示す指標	—	350.0

※「—」は赤字または将来負担が無いことを表しています。

○資金不足比率

事業の規模に対する資金不足額を、公営企業ごとに示す指標です。(単位:%)

指標	豊能町の数値	国の基準
下水道事業特別会計	—	20.0

※「—」は資金不足が無いことを表しています。

表やグラフの数値は、決算数値を1万円単位で表記しているため、差引額・合計額が合わない場合があります。